

企画展

戦乱

Medieval
Wars
in San'in

月山富田城の時代

山陰の



色々威五十八間筋兜(重要文化財) 佐太神社蔵 【展示期間 Ⅲ期 11/20～12/8】

刀 銘 雲州住冬廣作 当館蔵 【通期展示】

背景:月山富田城 (安来市広瀬町/画像提供:安来市観光協会)

令和6年10月11日金～12月8日日

会期中、一部展示替えがあります

【Ⅰ期】10月11日～11月4日 【Ⅱ期】11月6日～11月18日 【Ⅲ期】11月20日～12月8日

古代出雲歴史博物館

【開館時間】午前9時～午後6時(10/31まで)、午前9時～午後5時(11/1から) ※10/11は特別展示室のみ10時開場

【会期中の休館日】10月15日(火)、11月5日(火)、11月19日(火)、12月3日(火)

観覧料/一般:企画展 700円(560円) 常設展とのセット券 1,010円(800円)

大学生:企画展 400円(320円) 常設展とのセット券 600円(480円)

小中高生:企画展 200円(160円) 常設展とのセット券 300円(240円)

※WEB限定前売り券については、ホームページをご覧ください。※()内は20名以上の団体観覧料です。

※障がい者手帳または障がい者手帳アプリをお持ちの方はご提示ください。保持者及びその介助者1名は観覧無料になります。

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4 TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>



島根県立古代出雲歴史博物館

Shimane Museum of Ancient Izumo

出雲大社東隣り

戦乱

山陰の

Medieval Wars in San'in

企画展

月山富田城の時代

山陰屈指の名城、月山富田城。この城が出雲国の中心であった16世紀は、日本列島全体を覆う戦乱の時代でした。富田城の主が尼子氏、毛利氏・吉川氏、堀尾氏へと移り変わる中で、山陰地域は熾烈な戦いの舞台となり、織田信長や豊臣秀吉による全国的な戦いの影響も及ぶこととなります。

月山富田城が見届けた戦乱の時代とは、どのような時代だったのでしょうか。戦いのあり方を物語る武具や武器、戦乱の痕跡を土地にとどめる城、当時の人々が残した城下町遺跡の出土品、戦いの様相を記す古文書など、多様な作品・文化財を通して、戦乱の時代に向き合った山陰の人々や地域の姿に迫ります。

プロローグ 戦乱の記憶 一月山富田城をめぐる

戦乱を終えた江戸時代の人びとの記憶をたよりに、「月山富田城の時代」に踏み込んでみましょう。



富田城図 上巻(部分) 城安寺蔵【展示期間Ⅰ・Ⅱ期 10/11~11/18】

第1章 戦乱の装い ー武具と武器ー

甲冑、刀剣、火器。中世の武具と武器から、戦いのあり方とその変化に迫ります。

黒漆三十八間筋兜
吉川史料館蔵
【展示期間Ⅰ・Ⅱ期 10/11~11/18】



色々威腹巻 兜・大袖付 (重要文化財) 佐太神社蔵
色々威胴丸 兜・大袖付 (重要文化財) 佐太神社蔵
【展示期間Ⅱ期 11/6~11/18】 【展示期間Ⅰ期 10/11~11/4】
画像提供: 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives

第2章 戦乱の群像 ー武将たちの攻防戦ー

富田城の主がめまぐるしく変遷した戦国時代、名だたる武将たちが繰り広げた城の攻防戦から、戦乱の転機を探ります。



尼子晴久像 当館蔵
【展示期間Ⅱ・Ⅲ期 11/6~12/8】
毛利元就像 (重要文化財)
鰐淵寺蔵
吉川元春像 (岩国市指定文化財)
吉川史料館蔵
【展示期間Ⅰ期 10/11~11/4】 【展示期間Ⅰ期 10/11~11/4】

トピック しまねの武将たち

戦乱の時代を生きた個性的な武将たち。地域ゆかりの文化財を紹介します。

口羽通良坐像
宗林寺蔵
【通期展示】



第3章 戦乱の諸相 ー人びとと地域ー

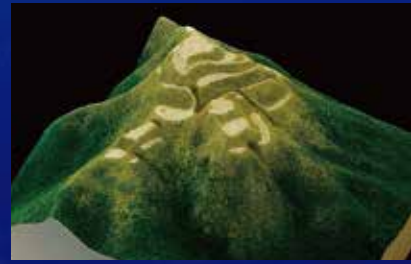
日本列島の人びとや地域を広く巻き込んだ戦乱の実像を、様々な視点から読み解きます。



関ヶ原合戦図屏風(左隻) 渡辺美術館蔵【展示期間Ⅱ・Ⅲ期 11/6~12/8】

第4章 戦乱と城 ー戦う城、変貌する城ー

戦いの痕跡を土地にとどめる「城」。多彩な特徴を持ち、時代とともに変貌していくその姿の意味を考えます。



狗戸那城跡復元模型
鳥取県埋蔵文化財センター蔵【通期展示】

第5章 戦乱と城下町 ー富田川河床遺跡の世界ー

月山富田城の麓には、城下町の遺跡が残されていました。最新の考古学の成果から、戦乱の時代の人びとの痕跡をたどります。



三太良遺跡出土品
当館蔵【通期展示】

エピローグ 戦乱の終焉 ー富田から松江へー

戦乱が徐々に終焉を迎える17世紀、富田城主となった堀尾氏は、松江を新たな拠点に選び、平和な時代に向けて動き出していきます。



阿弥陀如来坐像
城安寺蔵
【通期展示】

関連講座 オンラインで同時配信

1. 富田城を中心とした山陰の城館
10月12日(土) 10:00~11:30
講師: 中井 均氏(滋賀県立大学名誉教授)

2. 毛利・織田戦争と山陰
11月2日(土) 13:30~15:00
講師: 山本浩樹氏(龍谷大学文学部教授)

3. 尼子氏と山陰の戦乱
11月30日(土) 13:30~15:00
講師: 長谷川博史氏(島根大学教育学部教授)

会場/古代出雲歴史博物館 講義室
定員/各回60名(要事前申込) 参加無料

■関連講座・ギャラリートーク共通

【お申し込み方法】電話・FAX・ホームページのイベント参加フォーム(しまね電子申請)のいずれかで事前にお申し込みください。

【お申し込み先】TEL.0853-53-8600 FAX.0853-53-5350 <https://www.izm.ed.jp>

ギャラリートーク 担当学芸員による展示解説

日時: 10月12日(土) 14:00~15:00
11月2日(土) 10:30~11:30
11月30日(土) 10:30~11:30

定員/各回20名(要事前申込)

■参加には企画展観覧券もしくはミュージアムパスポートが必要です。

■当日は集合時間までに特別展示室入口付近にお集まりください。

※【個人情報取り扱いについて】この申し込みによって収集した個人情報は、島根県の規定に従って取り扱い、お申し込みいただいたイベント開催の目的にのみ利用するほかは法令に定めがある場合を除いて、第三者に提供することはありません。



交通アクセス

- 山陰道「出雲IC」から国道431号線経由で約20分
- JR出雲市駅から一畑バス「出雲大社・日御碕」行き乗車(約25分)「正門前」降車、徒歩約2分
- 一畑電車「出雲大社前駅」降車徒歩約7分
- 出雲空港から空港連絡バス「JR出雲市駅」行き(約25分)※JR出雲市駅からは一畑バス、一畑電車をご利用ください

主催/島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター
後援/朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TBS Kさんいん中央テレビ、テレビ朝日 松江支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社

お知らせ 古代出雲歴史博物館は耐震改修工事等のため、令和7年4月~令和8年9月(予定)まで休館いたします
詳細や再開時期につきましては、決定次第当館ホームページなどでお知らせいたします



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

出雲大社東隣り

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>